筋電センサー *ETIG-EYE* PC ソフトウェアマニュアル



ジーリンクス株式会社 静岡県浜松市中央区西丘町 943-1 電話:(053)401-0882 FAX :(053)401-0883 URL :https://www.glinx.co.jp/

◆ ご使用前に(注意していただきたいこと)	1
◆ インストール	2
1 USB ドライバのインストール	2
2 WaveDisp.exe のインストール	4
◆ アンインストール	5
◆ WaveDisp2.exe の使い方	7
1 画面	7
1.1 システム設定画面(その1)	7
1.2 システム設定画面(その2)	7
1.3 メニュー(その1)	8
1.4 メニュー(その2)	8
1.5 筋電グラフ	8
1.6 ペアリング設定画面	9
1.7 オフセット調整画面	9
1.8 オプション設定画面	9
2 EMG-EYE Ⅱ 集計ボックスと PC の接続	10
3 データ保存の設定、グラフ表示の設定	12
3.1 計測データの保存先	12
3.2 計測データの保存間隔	13
3.3 計測データの範囲	14
3.4 グラフ表示間隔の設定	15
3.5 データ保存設定の保存	15
4 計測	16
5 計測データの保存	
6 保存ファイル形式(CSV ファイル)	20
◆ 初期設定	21
1 Bluetooth ペアリング設定	21
1.1 Bluetooth ペアリング解除	21
1.2 Bluetooth ペアリング登録	22
2 オフセット調整	

◆ ご使用前に(注意していただきたいこと)

本章では、PC ソフトウェアのご使用にあたり注意していただきたい事項について説明いたします。ご使用前 に必ずご確認ください。

- ◆ このソフトウェアは、弊社製ワイヤレス筋電センサー「EMG-EYE Ⅱ」用です。他の用途には使用されないようお願いいたします。
- ◆ この PC ソフトウェアは、Windows 7 / 8.1 / 10 / 11 用です。他の OS ではご使用いただけません。
- ◆ 「EMG-EYE II」の使用方法につきましては、別途『筋電センサー「EMG-EYE II」ハードウェアマニュ アル』をご参照ください。
- ◆ 使用方法についてのご質問やトラブルなど、何かありましたら下記までご連絡ください。

ダーリンク	ス	朱式会社
静岡県浜	松市	□中央区西丘町 943-1
電話	:	(053) 401–0882
FAX	:	(053) 401–0883
URL	:	https://www.glinx.co.jp/
E-Mail	:	info@glinx.co.jp
営業時間	:	平日 9:00~17:00

本章では、PC ソフトウェアのインストールについて説明いたします。 次の手順に従ってインストールを行なってください。

- 1 USB ドライバのインストール
 - 1) 付属 CD 内の「CDM21224_Setup.zip」ファイルを解凍します
 - 2) 生成された「CDM21224_Setup.exe」ファイルを起動します
 - 3) [Extract]をクリックします



4) 〔次へ〕をクリックします



5) 契約書を確認後、〔同意します〕をチェックし、〔次へ〕をクリックするとインストールが始まります



6) 〔完了〕をクリックしてインストールを終了します



7) 製品に電源を入れた状態で PC と USB 接続します

※下記の画面は、タスクバーに表示されているアイコンをデスクトップに表示させた状態です



- 2 WaveDisp2.exe のインストール
 - 1) CD 内の「WaveDisp2.zip」ファイルをデスクトップ上に解凍します ※ログイン中のアカウントでファイル保存が出来る場所であれば、任意の場所に解凍する事も可 能です
 - 2) デスクトップ上の「WaveDisp」フォルダの「WaveDisp2.exe」ファイルを起動します
 - 3) 以下の画面が表示されます

接続(<u>0</u>) 切断(<u>C</u>)		更新	折(<u>□</u>)	開始(<u>R</u>)	停.	F(2)
全Ch	×1000	Ŧ	1000Hz -	通常データ	Ŧ	保存
Ch01	×1000	w.	1000Hz 💌	通常データ	¥	保存
Ch02	×1000	Ŧ	1000Hz -	通常データ	Ŧ	保存
Ch03	×1000	*	1000Hz -	通常データ	Ŧ	保存
Ch04	×1000	$\forall \tau$	1000Hz -	通常データ	Ψ.	保存

本章では、PC ソフトウェアのアンインストールについて説明いたします。 次の手順に従ってアンインストールを行なってください。

1) 製品とPCを接続した状態でデバイスマネージャーを起動させます



2) [USB Serial Port]を右クリックして、[削除(U)]を選択します

☆ デバイスマネージャー
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)
・ ・ ・
フロパティ(R)
選択したデバイスのドライバーを削除します。

3) 〔このデバイスのドライバーソフトウェアを削除する〕にチェックをいれ、〔OK〕ボタンを押します



4) CD 内の WaveDisp2.zip ファイルを解凍したフォルダごと削除すれば完了です

本章では、PC ソフトウェアの使用方法について説明いたします。

1 画面

1.1 システム設定画面(その1)



1.2 システム設定画面(その2)



※本製品では、サンプリング周波数「1000Hz」は選択できません。

1.3 メニュー(その1)

	🎯 筋電アンプ 通信中	1		14 <u>-</u>	□ ×
表示可能グラフを 全て表示します	ファイル(E) 表示(V) 接続(切断(<u>C</u>)	≫-ル(<u>1</u>)	すべて(A) Ch01(1)		停止(S)
使用グラフを選択 して表示します	全Ch Ch01 Ch02	×100 ×100	Ch02(2) Ch03(3) Ch04(4)	ļ	 ✔ 保存 ✔ 保存 ✔ 保存 ✔ 保存
	Ch03 Ch04	×1000 ×1000	• 1000Hz ▼ 通常 • 1000Hz ▼ 通常	格データ 格データ	 ◆ 保存 ◆ 保存 ◆ 保存
				[終了(※)

1.4 メニュー(その2)



1.5 筋電グラフ



1.6 ペアリング設定画面



1.7 オフセット調整画面



1.8 オプション設定画面



2 EMG-EYE II 集計ボックスと PC の接続

1) EMG-EYE II 集計ボックスと PC を USB 接続した状態で、〔接続(O)〕ボタンを押します

接続(<u>0</u>) 切断(<u>C</u>)		更新	析(山)	開始(<u>R</u>)	停.	止(S)
全Ch	×1000	Ψ.	1000Hz -	通常データ	Ŧ	保存
Ch01	×1000	w.	1000Hz -	通常データ	~	保存
Ch02	×1000	v	1000Hz -	通常データ	Ŧ	保存
Ch03	×1000	Ŧ	1000Hz -	通常データ	Ŧ	保存
Ch04	×1000	w.	1000Hz -	通常データ	Ψ.	保存

2) 以下のようになれば、接続完了です

接続(<u>O</u>) 切断(<u>C</u>)	Į	Ē新(<u>U</u>)	開始(<u>B</u>)	停.	止(S)
全Ch	×1000	1000Hz	通常データ	Ŧ	保存
Ch01	×1000	1000Hz	通常データ	Ψ.	保存
Ch02	×1000 _	1000Hz -	通常データ	Ŧ	保存
Ch03	×1000	1000Hz	通常データ	Ŧ	保存
Ch04	×1000 -	1000Hz	通常データ	Ψ.	保存

※ 以下のようになった場合は、USB ケーブルに問題があるか、製品に異常があります

接続(<u>0</u>) 切断(<u>C</u>)	Į	[新(山)	開始(<u>R</u>)	停.	止(S)
全Ch	×1000 _	1000Hz -	通常データ	Ŧ	保符
Ch01	×1000 -	1000Hz -	通常データ	w.	保有
Ch02	×1000 -	1000Hz -	通常データ	Ŧ	保存
Ch03	×1000 -	1000Hz -	通常データ	Ŧ	保育
Ch04	×1000 -	1000Hz -	通常データ	Ψ.	保存

- 3) センサーの電源を入れます
- 4) EMG-EYE II 集計ボックスとEMG-EYE II 筋電センサーとのペアリングが完了していれば、以下の ようになります
 - ※ 出荷時にペアリング済みです
 - ※ 接続処理に 30 秒~1 分かかる場合があります

接続(U) 切断(C)		更雜	ĥ(<u>U</u>)	開始(<u>R</u>)	停	止(S)
全Ch	×1000	Ŧ	1000Hz -	通常データ	Ŧ	保存
Ch01	×1000	~	1000Hz =	通常データ	v	保有
Ch02	×1000	v	1000Hz 🛩	通常データ	Ŧ	保存
Ch03	×1000	Ŧ	1000Hz =	通常データ	Ŧ	保育
Ch04	×1000	w.	1000Hz -	通常データ	¥.	保存

3 データ保存の設定、グラフ表示の設定

計測開始前に、データ保存の設定およびグラフ表示の設定を行います。

1) メニューの[ツール(T)]->[オプション設定(S)]をクリックします。

接続(O)	Bluetooth設定(B) オフセット調整(O)	(R)	停」	F(2)
456/1(07	オプション設定(S)			
全Ch	×500 👻 1000H	z 🗾 通常データ	Ŧ	保存
Ch01	×1000 🗾 1000H	z 🗾 通常データ	*	保存
Ch02	×1000 💌 1000H	z <u>・</u> 通常データ	Ŧ	保存
Ch03	×1000 - 1000H	lz <u>-</u> 通常データ	7	保存
Ch04	×1000 <u>-</u> 1000H	2通常データ	Y	保存

2) 以下の画面が表示されます。

オブション	×
共通 保存先: C:¥Users¥ ¥Desktop¥WaveDisp_V2.1.0.0¥¥EMG_Data 全CHが同じ周波数の保存状態: 空セル有り ▼ データ表示: +/-表示 ▼ フレームレート: 10 ▼	参照 (2)
	(保存(5) 開じる(C)

3.1 計測データの保存先

オプション画面の〔参照〕ボタンをクリックし、筋電データを保存する場所を選択します。 (指定しない場合は、WaveDisp2.exe があるフォルダ内に保存されます)

オブション	×
共通 保存先: C:¥Users¥ ¥Desktop¥WaveDisp_V2.1.0.0¥¥EMG_Data 全CHが同じ周波数の保存状態: 空セル有り ▼ データ表示: +/-表示 ▼ フレームレート: 10 ▼	<u>参照</u> 化)
	(保存(5) 閉じる(2)

オプション画面の〔全 CH が同じ周波数の保存状態〕コンボボックスをクリックし、〔空セル有り〕か〔空セル無 し〕を選択します。

オプション	×
共通 保存先: C:¥Users¥ # iDesktop¥WaveDisp_V2.1.0.0¥¥EMG_Data 全CHが同じ周波数の保存状態: データ表示: フレームレート: 10 ▼ 10 ▼	参照(R)
保存⑤	閉じる(<u>C</u>)

〔空セル有り〕

計測データを保存するチャンネルのサンプリング周波数がすべて同じであっても、以下の間隔でデータを保存します。(複数チャンネルでデータの同期をとるために空白行を挿入しています)

・サンプリング周波数 500Hz → 1 行おきにデータ記入

・サンプリング周波数 200Hz → 4 行おきにデータ記入

	A	В	С	D
1	EMGデータ	2019/6/21	8:53:17	
2	Ch06	Ch07	Ch08	
3	×500	×500	×500	
4	200Hz	200Hz	200Hz	
5	通常データ	通常データ	通常データ	
6	91	13	-4	
7				
8				
9				
10				
11	30	-17	-13	
12				
13				
14				
15				
16	-31	12	34	
17				
10				

3チャンネルともサンプリング周波数が200Hzですので、4行の空白行 があります。

〔空セル無し〕

計測データを保存するチャンネルのサンプリング周波数がすべて同じである場合、どのサンプリング周波数であっても空白行を入れません。

	A	В	С	D
1	EMGデータ	2019/6/21	8:53:17	
2	Ch06	Ch07	Ch08	
3	>500	×500	×500	
4	200Hz	200Hz	200Hz	
5	通常データ	通常データ	通常データ	
6	91	13	-4	
7	30	-17	-13	
8	-31	12	34	
9	16	9	-5	
10	50	-26	-12	
11	36	34	37	
12	-92	18	4	
13	66	-2	10	
14	18	7	18	
15	-140	2	6	
16	80	18	6	
17	22	-23	-17	
18	-35	24	27	
10	20	_4	_1	

空白行はありません。

サンプリング周波数が 200Hz ですので、5ms 単位でデータの保存をしていることになります。

オプション画面の〔データ表示〕コンボボックスをクリックし、〔+表示〕か〔+/-表示〕を選択します。

オプション		×
共通 保存先: C:¥Users¥ ¥Desktop¥WaveDisp_V2.1.0.0¥¥EMG_Data 全CHが同じ周波数の保存状態: 空セル有り ▼ データ表示: フレームレート: +表示 ▼ +表示		参照图
	保存(5)	閉じる(<u>C</u>)

〔+表示〕

計測データは 0~4095 の範囲で出力(グラフ表示、データ保存)されます。

	Ch01																		-		Х
																			電池残量:	0	
307	1																				
204	7	han been and the second se	wife profession	Ymrystyrnyr	aller aller and a second	-q.4.1,+1(m)_14(N	en feletado	hilld	and the states	a la la cinata anti-	-bangetta	Janahapangala	lines of the second second	unerstaat de tak	al de la della	Matauta		Antonia		un and an and a	
102	3								անություն, է ,						ու իքար	di tin kum.	ada da. 1. L	al ato the			
0	F				4				3				2				1			探過時	問例
					-				3				2				1			(王)(西山山)	.81(12)

〔+/-表示〕

計測データは -2047~2047 の範囲で出力(グラフ表示、データ保存)されます。



▶ 数値は測定 2 点間の電位差を表しています。計算方法は以下の通りです。

① [+表示]設定

電位差[mV] = (数值 - 2047) × (1600÷4095) ÷ (増幅率)

② [+/-表示]設定

```
電位差[mV] = (数值) × (1600÷4095) ÷ (増幅率)
```

例) [+表示]設定、増幅率 ×1000、測定値が「500」であった場合 (500 - 2047) × (1600÷4095) ÷1000 ≒ -0.604[mV] オプション画面の〔フレームレート〕コンボボックスをクリックし、〔10〕~〔1〕を選択します。

オプション		×
共通 保存先: C:¥Jsers¥ ¥Desktop¥WaveDisp_V2.1.0.0¥¥EMG_Data 全CHが同じ周波数の保存状態: 空セル有り ▼ データ表示: +/-表示 ▼ フレームレート: 10 ▼ 9 9 8 7 6 5 ▼	参照(2)	
	保存(<u>s</u>) 閉じる(<u>c</u>)	

〔10〕	\Leftrightarrow		[1]
表示間隔が短い	(滑らか)	表示間隔が長い	(少しカクカクする)
※ グラフ表示の	みの設定です。保	存データに違いは	ありません。

3.5 データ保存設定の保存

〔保存〕ボタンをクリックし、オプション画面を閉じます。

Σ∋Σ		
通 保存先: C:¥Users¥ i¥Desktop¥WaveDisp_V2.1.0.0¥¥EMG_Data 全CHが同じ周波数の保存状態: 空セル有り マ		参照(R)
データ表示: +/一表示 ▼ フレームレート: 10 ▼		
	(呆存(<u>S</u>)	閉じる(

- 4 計測
 - 1) 使用チャンネルのボタンをクリックします(クリックするとボタンが押されます)。

接続(<u>0</u>) 切断(<u>C</u>)	更	新(山)	開始(<u>R</u>)	停.	Ŀ(S)
全Ch	×1000 -	1000Hz -	通常データ	Ŧ	保存
Ch01	×1000 💌	1000Hz 🔻	通常データ	•	保存
Ch02	×1000 -	1000Hz 🔻	通常データ	•	保存
Ch03	×1000 🔻	1000Hz 🔻	通常データ	-	保存
Ch04	×1000 💌	1000Hz 🕶	通常データ	•	保存

2) 倍率、サンプリング周波数、データの種類(通常データ or RMS(RMS の場合は時定数))を設定します

接続(Q) 切断(<u>C</u>)		更新(<u>U</u>)	開始(<u>R</u>)	停	ı£(S)
全Ch │	×1000	- 1000Hz	通常データ	-	保存
Ch01	×1000	▼ 1000Hz	▼ 通常データ		保存
Ch02	×1000	▼ 1000Hz	• 通常データ	-	保存
Ch03	×1000	▼ 1000Hz	▼ 通常データ	-	保存
Ch04	×1000	▼ 1000Hz	• 通常データ		保存

3) 〔更新(U)〕ボタンを押します

設定中は以下の画面が表示されます



※ 〔更新(U)〕ボタンを押さずに開始しようとすると以下のメッセージが表示されます



4) 〔開始(R)〕をクリックして計測を開始します

※ データの保存をしたい場合は、「5 計測データの保存」を参照して下さい

接続(<u>0</u>) 切断(<u>C</u>)	Ţ	Ē新(<u>U</u>)	開始(<u>R</u>)	停.	ı£(S)
全Ch	×1000	1000Hz	通常データ	Ŧ	保存
Ch01	×1000 -	1000Hz •	・通常データ	•	保存
Ch02	×1000 -	1000Hz	通常データ	•	保存
Ch03	×1000 -	1000Hz •	通常データ	-	保存
Ch04	×1000 •	1000Hz •	通常データ	•	保存

5) メニュー〔表示(V)〕-〔Ch(C)〕を選択して表示したいグラフを表示します

接続(Ch(C)	3	すべて(A)			
七刀世斤(<mark>0</mark>)	1		Ch01(1)		1루.	止(S)
		_	Ch02(2)			
全Ch		×500	Ch03(3)	9	~	保存
Ch01		×1000	Ch04(4)	þ	•	保存
Ch02		×1000 -	• 1000Hz ▼ 通7	常テータ	-	保存
Ch03		×1000 -	• 1000Hz ▼ 通	常データ	-	保存
Ch04		×1000	• 1000Hz ▼ 通	常データ	•	保存



6) 次のようにグラフが表示されます

5 計測データの保存

接続(<u>O</u>) 切断(<u>C</u>)	更	〔新(山)	開始(<u>R</u>)	停.	止(S)
全Ch │	×1000 _	1000Hz -	通常データ	-	保存
Ch01	×1000 💌	1000Hz 🔻	通常データ	*	保存
Ch02	×1000 🔻	1000Hz 🔻	通常データ	-	保存
Ch03	×1000 💌	1000Hz 🔻	通常データ	-	保存
Ch04	×1000 🔻	1000Hz 🕶	通常データ	-	保存

1) メイン画面の、保存したいチャンネルの保存ボタンを押します(クリックするとボタンが押されます)

2) 開始ボタンを押して、計測を開始します

開始後にメモリにデータが一時的に保存されます(最大で1時間~1.5時間程)

接続(<u>O</u>) 切断(<u>C</u>)		〔新(<u>U</u>)	開始(<u>R</u>)	停.	止(S)
全Ch	×1000 <u>-</u>	1000Hz -	通常データ	Ŧ	保存
Ch01	×1000 💌	1000Hz 🕶	通常データ	•	保存
Ch02	×1000 -	1000Hz 🔻	通常データ	-	保存
Ch03	×1000 💌	1000Hz 🔻	〕通常データ	•	保存
Ch04	×1000 🔻	1000Hz 🕶	通常データ	-	保存

3) 停止ボタンを押すと、自動で「EMG_Data」フォルダ、

「#############(日時)_EMGData.csv」ファイルが作成されます

*	
<.	

接続(<u>O</u>) 切断(<u>C</u>)		〔新(山)	開始(<u>B</u>)	停	ı£(S)
全Ch	×1000 <u>-</u>	1000Hz	通常データ	Ŧ	保存
Ch01	×1000 💌	1000Hz 🔻	通常データ	-	保存
Ch02	×1000 🔻	1000Hz -	通常データ	•	保存
Ch03	×1000 💌	1000Hz 🔻	通常データ	•	保存
Ch04	×1000 💌	1000Hz 🔻	・通常データ	-	保存

ファイルが保存されると以下のメッセージが表示されます ※ 計測した時間が長いと保存待ち時間も長くなります



※ フォルダがない場合以下のメッセージが表示されます



6 保存ファイル形式(CSV ファイル)

20160330174614_EMGData.csv - 义モ帳	×
ファイル(<u>E</u>) 編集(<u>E</u>) 書式(<u>O</u>) 表示(<u>V</u>) ヘルプ(<u>H</u>)	
MGデータ,2016/03/30,17:46:14	-
x1000,x1000,x1000,x1000	
1000Hz,1000Hz,1000Hz,1000Hz	
通吊テーン,通吊テーン,通吊テーン,通吊テーン	
2064,3562,1985,1685	
2064.3562.1985.1685	
2064,3562,1985,1685	
2064,3562,1985,1685	
2064,3562,1985,1685	
2064.3562.1985.1685	
1963,62,2034,2622	
1963,62,2034,2622	
Ŏ,Ŏ,Ŏ,Ŏ	
0,0,0,0	
0,63,0,0	
1957.3277.0.0	
1957,3277,0,0	
2201,3251,0,0	-
×	H. 14

- 1行目 :データの種類・保存日付・保存日時
- 2行目 :使用チャンネル
- 3 行目 : 倍率(チャンネル別)
- 4 行目 : 周波数(チャンネル別)
- 5 行目 :通常データ or RMS (チャンネル別)
- 6 行目~:データ(チャンネル別)
 - ※ データ範囲、空白行はオプション設定に基づいて保存されます (「3 データ保存の設定、グラフ表示の設定」参照)

本章は EMG-EYE II の初期設定の方法について説明いたします 但し出荷時に設定済みですので、通常、お客様でご実施いただく必要はありません。

- 1 Bluetooth ペアリング設定
- 1.1 Bluetooth ペアリング解除

既に登録されているペアリング情報を削除します。

1) メニュー[ツール(T)]-[Bluetooth 設定(B)]を選択して設定画面を表示します

接続(0)	Bluetooth	n設定(B)			
切断(C)	オノセット』 オブション	同整(O) 役定(S)	B	停	止(S)
全Ch	×1000 -	1000Hz 💌	通常データ	•	保存
Ch01	×1000 💌	1000Hz 💌	通常データ	*	保存
Ch02	×1000 💌	1000Hz 💌	通常データ	•	保存
Ch03	×1000 💌	1000Hz 🔻	通常データ	-	保存
Ch04	×1000 💌	1000Hz 💌	通常データ	•	保存

2) ペアリング解除したいチャンネルを選択し、〔解除(F)〕ボタンを押します

Bluetooth接続先設定		×
チャンネル		
Ch01 🔫	検索 <mark>(S</mark>)	解除(E)
Bluetooth ID 一覧		
	登録 <mark>(R)</mark>	
		閉じる🛚

3) 確認画面が表示されるので[はい(Y)]ボタンを押します。



4) 以下の画面が表示されれば解除完了です。[OK]ボタンを押します。



1.2 Bluetooth ペアリング登録

センサーモジュールのペアリング登録をします。

1) メニュー[ツール(T)]-[Bluetooth 設定(B)]を選択して設定画面を表示します

接続(0)	Bluetooth	設定(B)		-	
切断(©)	オフセット部 オプション記	問整(O) 段定(S)	(B)	停	止(S)
全Ch	×1000 💌	1000Hz 💌	通常データ	•	保存
Ch01	×1000 💌	1000Hz 💌	通常データ	*	保存
Ch02	×1000 💌	1000Hz 💌	通常データ	-	保存
Ch03	×1000 🔻	1000Hz 💌	通常データ	-	保存
Ch04	×1000 💌	1000Hz 💌	通常データ	•	保存

ペアリングしたいチャンネルを選択し、〔検索(S)〕ボタンを押します
 ペアリングしたいセンサー以外は電源を落とした状態にして下さい

	×
検索(<u>S</u>)	解除(F)
登錄 <mark>(R)</mark>	
	閉じる <mark>(X)</mark>
	検索(5) 登録(R)

3) 検索が始まります



4) 該当センサーが見つかると下記メッセージが表示されます



5) ID を選択して、〔登録(R)〕ボタンを押します

Bluetooth接続先設定		×
チャンネル Ch01 ▼ Bluetooth ID 一覧	検索(5)	解除(F)
000666E7BB17	登錄(R)	閉じる(X)

6) 登録が完了すると下記メッセージが表示されます

WaveDis	p X
A	IDの登録が完了しました
	ОК

※ ID を選択しないで登録しようとすると下記メッセージが表示されます ID を選択して登録して下さい



- 2 オフセット調整
 - 1) メニュー〔ツール(T)〕-〔オフセット調整(O)〕を選択してオフセット調整画面を表示します

接続(O) 切断(C)	Bluetooth オフセット調	設定(B)]整(O)	R	停.	上(S)
	オノション語	迂定(5)			
全Ch	×500 -	1000Hz - 3	通常データ		保存
Ch01	×1000 💌	1000Hz - 3	通常データ	w.	保存
Ch02	×1000 💌	1000Hz - 3	通常データ	Ŧ	保存
Ch03	×1000 -	1000Hz - 5	通常データ	Ŧ	保存
Ch04	×1000 <u>-</u>	1000Hz - 5	通常データ	7	保存

2) チャンネルを選択し、〔開始(R)〕ボタンを押します

*	センサー	ー線とアースをショートした状態で調整します		
		オフセット調整	×	
		チャンネル: Ch01 🔽	開始(R)	
			閉じる <mark>⊗</mark>	

3) 1分ほど待つと下記メッセージが表示されます。



4) 〔閉じる〕を押して終了します。

オフセット調整	×
チャンネル: Ch01 🔽	開始(R)
	 閉じる(X)

※ 下記メッセージが表示されたら、調整をやり直して下さい

